

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM45Z007	生物 I (Biology I)	基礎分野科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	1	前期	木 4	池田 八果穂 内線：5609 E-mail：yatukaho@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

人間は生物の一員であり、また、人間は多種多様な生物との相互関係の中で生活している。従って、人間を理解するうえで生物学の知識を深めることは不可欠である。本講義では様々な生命現象について学び、生物学の基礎的知識と、生物学を通して人間を考える視点を身につけることを目標とする。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. ヒトなど動物の発生過程について説明できる。	○					
2. 発生過程における遺伝子発現の仕組みについて説明できる。	○					
3. 遺伝子と進化の関係を説明できる。	○					
4.						

【授業の内容】

1	体細胞分裂
2	減数分裂
3	配偶子形成
4	卵割・胞胚形成
5	原腸胚・神経胚・器官形成
6	無脊椎動物の発生
7	脊椎動物の発生
8	細胞の分化
9	発生と遺伝子
10	卵極性遺伝子と分節遺伝子
11	Hox 遺伝子
12	脊椎動物の発生と遺伝子
13	発生と進化
14	遺伝子と進化の仕組み
15	まとめ

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	実物の標本を観察するなど授業中に学生に意見や説明を求める場面を設ける。	画像や動画の活用、LMS(Moodle)の活用
B：意見の表現・交換			
C：応用志向			
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	参考書や高校の教科書を利用して基礎的知識を学習する(15hr)。
事後学修	参考書や高校の教科書を利用して復習する(15hr)。Moodleで配布される資料を参考にする。

【教科書】教科書は指定しない。授業の際に資料を配布する。

【参考書】 浅島誠(著)、駒伸二(著)『動物の発生と分化』裳華房、2014年、ISBN 9784785358495
 Scott F. Gilbert(著)『ギルバート発生生物学』MEDSI、2015年、ISBN 9784895928052
 S. Mader(著)、藤原晴彦(監修)『マダー生物学』東京化学同人、2021年、ISBN 9784807909698

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3
小テスト	20%	○	○	○
期末テスト	80%	○	○	○

【注意事項】**【備考】**

教員の実務経験の有無		
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態		